



星先生の全貌 (三)

衆議院議員 伊藤 仁太郎

先生に接近する政治家で相場をやる者があると、「君は相場をやる由であるが、相場をやるなら政治を止すかよからう」と忠告するのが常であつた。金銭に對する先生の心持は、これに現れて居る。

貧しくはないが、有餘る金があるのではないから借金に當りて居た。品川に牧野如石といふ盲目の金貸が居たが、利息の高い事で日本一と言はれそれが、爲に時々屋敷へ石を投げられた事もある位だが、先生は始終此人から金を借りて居た。

それに就て或人が斯ういふ事を申出た事がある。「先生に高い利息を拂つて金の融通を受けて居られる様だが、私の知つて居る實業家で、卅萬や四十萬なら利息なしで用立てると云つて居る者がありませんから、借りたら如何ですか、高利貸の金を借りるよりよいでせう」

「それは斷る」「どうしてですか。」「實業家から借りると、情實が附いて来る。五十萬圓貸せば、百萬圓、何かで

儲けたいのだが。高利貸なら利息さへ拂へば、威張つて借りられるからな」

金の使ひ方から言つと、一人としての先生は、寧ろ各の方であつた。却々出さぬ。金を出して貰ひたい事があつて要求すると、必ず理由を聞く。その理由が氣に入らなければ決して出さない。

其代り勉強する青年の學資として入用だから、これだけ出して下さい、といふやうに正しい理由のある事には「ウムウム」と言つて喜んで出した。

どんな親しい門下が言込んで、立派に理由の立た

ノート

茸類の中 毒は茄子の毒を煎じて飲むとよい、また櫻の皮の煎汁も効く。

ぬ金は決して出さぬ。吉原で遊びすぎて馬を引いて来て、「先生斯ういふ譯ですか、どうか金を下さい」といつた様な場合には断じて出さぬ。長崎縣人で、真方至信といふ者があつた。或時、馬

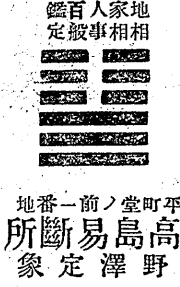
を引いて来て、先生に要求したが、何と云つて頼んでも承知しなかつた。真方は、先生のためには死を辭せぬといふ迄に深い關係の在つた人だが、それを引いて来て、先生に要求したが、何と云つて頼んでも承知しなかつた。

【晝】魚がんどきー鮮魚 すりみと五もくいり 豆腐 まろめあげ

【晚】あんかけーさんが豆腐 あんかけ おろし生姜

でさへ、さうした金は出してやらなかつた。それで真方は、ひどく怒つて、皆がいくらなだめても肯かず、長崎へ歸つてしまつた。後に長崎で縣會議をよこしたが、それには「あの時は疝癪にさはつて歸つたが、あれで發奮した爲に今日議長にもなれたのだから、いづれ東京したら星先生に會つてお禮を言ふつもりだ」と書いてあつた。

我々が何事か政治運動で激しい働きから歸り、これから皆で慰勞會でもやらうと思つても、呉れる金が少ないのに不平を起し、玄關に立つて、演説などを始めるといふやうな事もあつた。然し此流儀だから先生は大成したのである。當時星と對立の地位に在つた大井憲太郎は、其點では全く反對の流儀であつた。



【晝】魚がんどきー鮮魚 すりみと五もくいり 豆腐 まろめあげ

【晚】あんかけーさんが豆腐 あんかけ おろし生姜

御用命は印刷物の總代理
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

入院應需院
藤沼醫院
内科 小兒科 花柳病科
平町紺屋町 電話七〇五番

品質第一
電話二六八番
所乳搾平
平町・九品寺前

旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
硝子 子 壺
硝子 食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木 正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前

齒科 口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木 喜政
内郷村高坂炭病院前

女給さん 數名
優遇大至急募集
新築落成 十四日開業
カフエー平樂新館
平町二丁目角
電話二九六番

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

秋刀魚漁までは無理にも一休み

鯉漁は大体終了したが

漁獲制限禁止令が出た

石城郡下各濱の鯉漁期は大體終了を告げて來月中旬より秋刀魚に出漁すべく來る十五日より各漁船は一齊に歸港して船体漁具の修理を急ぐ筈であるが本十二日付を以つて農林省より發令された秋刀魚漁獲制限禁止令によると千葉縣安房郡野

島崎燈臺以北の海洋では七月一日より九月廿日迄秋刀魚の漁獲を禁止され違反者は百圓以下の罰金を課せられ爲め郡下の漁業者は秋刀魚に移る迄無理にも一休みせねばならぬので頭を悩まして居る

夏蘭市場は二十五日頃から

夫々開場される

石城郡下各町村の夏蘭は廿日頃より出廻り始めるので四倉蘭市場は來る廿五日より又植田同市場は廿六七日頃より開かれる筈であるが夏蘭相場は蘭高の折柄四十

舊盆には

負困者に恵む

方面委員が調査中

平町共済事業助成會では例年の如く舊盆に際し市内の貧困者に現金

玉ネギ即賣

品評會を開く

石城郡神谷農事試験分場主催農事特別傳習會々員が

より一般者の爲めに即賣する尚研農會總會は當日午後一時より同場内に開き役員の改選を行ふ由

穀物検査

事務研究

平穀物検査所では本日午前九時より四倉勿來兩出張所員を招集し事務研究會を開いたが本場より菅野技手が出席した

平町の匡救事業

愈よ近く工事に

縣の許可指令に接す

既報平町の本年度匡救事業である揚土の縣社裏通學道路及び柳町より幕之内橋に至る道路の改修工事は昨日付を以つて縣の工事許可指令に接したので近く着工するが工費は九千七百圓である

郷士の調査と研究

平第二で二日間講習

既報石城郡下各小學校教員の郷土調査研究會は明日より二日間平第二小學校講堂に於て滋賀縣島小學校校長神田次郎氏講師の許に開かれるが本日迄の出席申込み者は四百餘名で講習要項左の如くである

- 一、郷土の意義及範圍
- 二、郷土教育の意義及び目的
- 三、郷土教育施設の基調

郡下教員

庭球大會

卅日期待さる

既報來る三十日午前九時よ

り警中A B兩コートに於て縣體育協會石城部會主催の許に開催される郡下教員庭球大會の申込み校は六校二十三チームに達し盛會を豫想されてゐるが昨年優勝した好問の鈴木、中山組及び決勝戦で四對三のスエアー

優勝カップ争奪

聚樂園の弓友大會

平城山弓友大會にては明日午前九時より城山聚樂園に於いて尺二的八射及び第二回優勝カップ争奪戦を催すが賞品は三十五等迄授與する

平町人事

- △北目九二 石山信雄氏四女 曉子
- △大工町一六〇二 渡邊三郎氏二男二郎
- △教川町三二 高野仁平氏五女 文子
- △銀冶町二一 谷口弘仁氏二女 チエ
- △胡摩澤一一六 中野義雄氏長男 和彦
- △古鍛冶町九一 神谷辰夫氏三男 公夫
- △研町八 伴武吉氏二女 和枝
- △五丁目 諸橋元三郎氏長女 綾子
- △堂ノ前六 木下寅市氏二女 和子
- △材木町九 鈴木善八氏三女 美恵子
- △大江町一七 丹野勝美氏長女 榮美子

にて惜しくも敗れた警女の大内、鈴木組を始め菊田方の大會に於て優勝した勿來校の眞船、正木組は素晴らしい進境振りを見せて居るとの事であれば定めし當日は大接戦を演ずるであらうと

平職業紹介所報告
 人を求める方
 △練炭製造夫 十九迄 尋卒 月十圓位(東京市某)
 △小店員 十五才 尋卒 給料面談(平町某)
 △石綿工見習 十六才 尋卒 給料面談(平町某)
 △雑夫 三十才 月十圓外 面談(四ツ倉町某)

回職を求める方
 △給仕 十七才 高卒 給料面談(内郷村某)
 △菓子製造工 二十四才 高卒 給料面談(茨城縣某)
 △鐵工 十八才 高卒 給料面談(平町某)
 △外務員 二十四才 中三 修 給料面談(内郷村某)

正木織物店ノ生命也

絹織物、正木織物店へ
 開業二十五週年を祝するため
 二割引にて大々の勉強御註文に應ず

御註文ノ時ハ(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス
 平町字新町貳十貳番(公園下)

白生地 正木織物店
 賃織販賣

吉田眼科病院

平針屋町、電話六八八番

運轉手の機轉

東京へ逃げる筈の車が

抱主の家の前に

平町新田町藝妓屋久本事大久保ヨシ方抱藝妓玉子事梁川チヨ(七)は先月來前借千餘圓で同家に抱られたが今曉一時頃身の代金を踏んで東京方面に逃走すべく驛前不二自動車店で東京迄の貸切を依頼し同店運轉手渡邊清一の自動車に乗込んだ處事情を察した運轉手は市内を一巡して車を抱主の久本

方に横付けにしたので逃走計畫失敗して逆戻りとなる

天満宮の祭禮

小嶽倉神社境内天満宮の祭典は來る十四日執行されるが餘興としては仕掛花火茶番あり兒童の書畫展覽會を備し優良品には各賞品を授與すると

片ツ端から

喧嘩を賣る男

消防組員が出て取押ふ

石城郡夏井村宇山野鈴木清俊(三)は去る九日午後八時頃田村郡殿澤村地内を泥酔徘徊し通行人を片端しから

冷酷な雇主を

女中が訴ふ

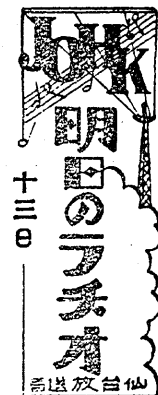
知らぬ内に

殖へた借金

石城郡來町九面料理店下野屋方抱へ酌婦手塚登久(三)は去月二十日まで多賀郡大津町八勝園鈴木西吉方に奉

公住替へたものであるが住替に際し

稼ぎ金の請求をなした處八勝園は勘定せず同女



明日のラジオ

今夜は北東驟雨
模様明日は南西の
風晴曇半す

今晚の部

- 後六〇〇 子供の時間 管絃樂 東京ラヂオオーケストラ 指揮平野主水
- 後六二五 産業講座「東北の畜産」盛岡高等農林學校教授草刈虎雄
- 後七三〇 講演 栃木縣壬生町有志石川家美代吉
- 後八三〇 落語
- 後九三〇 清元
- 後九三〇 時報ニエース 氣象通報 番組豫告

明日の部

- 前八〇〇 孟蘭盆會法要 京都知恩院より中繼
- 前八五〇 野球試合實況 全國中等學校優勝野球大會(雨天順延)明治神宮外苑球場より中繼
- 前九一〇 榮養料理献立「若荷の豚肉巻揚げ」榮養研究所
- 前九三〇 (子供の時間) 童謡とマンドリンオーケストラ「獨唱」内木欽子
- 「合奏並伴奏」東京ブルック

トラムソサエテイ

- 揮「小池正夫」
- 前一〇〇〇 宗教講話 學院大學部長 菱沼平治
- 前一〇〇〇 講演「明治大帝東北御巡幸と聖蹟」明治天皇聖蹟保存會長 侯爵 西郷從徳
- 後一〇五〇 滿洲より
- 後一二〇〇 講演「太閤と會呂利新左衛門」色井貞吉
- 後一五〇〇 歌謡曲
- 後二一〇〇 舞臺劇「官員小僧」青木千八郎外大勢
- 後三〇〇〇 世界民謡しらべ(第二回)「ギリシヤ、ルーマニヤ、セルビヤ」解説堀内敬三 獨唱 太田 黒養一

後六〇〇 (子供の時間)

- ラヂオ夕涼み 水前寺から(熊本市水前寺より中繼) 熊本童話劇協會
- 後六二五 産業講座「林檎の話」青森縣立萃果試驗場長 須佐寅三郎
- 後七三〇 編成の夕長唄(忍車) 唄 杆屋六外
- 後七五〇 萬歳「海水浴と寺小屋」浪花家蝶之助 若松辯天
- 後八一五 歌謡曲 大西バンド
- 後八四〇 義太夫「戀娘昔八丈」(城木屋の段) 文樂座より中繼 淨るり 豊竹駒太夫 三味線 竹澤 閣六

豆田橋落札者

既報平土木監督所昨十一日執行した入遠野村豆田橋復舊工事の入札は八百九十七圓で湯本町渡邊長作氏に落札した

理攻めの喧嘩

流石は元村長と現村議

ドチラが悪いのか?

双葉郡大堀村大字大堀字清水一四元村會議員志賀龜次郎(六)は去る六月十八日午前八時頃自分の田の水を見廻りに行った際同村字漆畑現村會議員山田吉治(五)が無断で志賀の田に杭打ちをしてゐるので「何をすつ」と怒つた處「道路に杭を打つのが何が悪い」と食つて掛り青田に打倒して首を絞め頭部に全治十日間を要する傷害を與へられたと志賀は平檢事局に傷害の告訴を

十五の小姑娘

仲間を營利誘拐

平町南町飲食店友野屋事大月ハマ方抱酌婦東京市瀧川區仲里町六五明治長女石井

六尺の堤防から

自動車轉げ落つ

車輪が土中に喰ひ込んで

石城郡小名濱町自動車業平野直康方運轉手小林善吾が十日午前九時頃福第八〇六号貨物自動車に鯉五百貫匁を積載し操縦磯濱町に向つて進行中多賀郡磯原町舊磯原國道筋へ差かゝつた際前方より自轉車に乗り來る者あるに氣づき道路左端しに

潜り周旋業者が

また發覺捕はる

石城郡内郷村大字宮字金坂五八大工職佐川徳之助(三)は本年一月中無免許で赤井村福島炭礦坑夫川田龜治長

差押競賣

鯉川組合の滞納處分、石城郡鯉川堰水利組合では七年度組合費滞納者廿名に對し過般差押處分に附したので來る廿二日午前十時より平町團體事務所で競賣すると

裁判所だより

既報双葉郡富岡町毛萱耕地整理組合長佐藤徳右衛門(三)に對する詐欺事件の公判は來る九月七日平支部に於て中島判事係、關口、香西兩判事陪席、三堀檢事立會、門傳、大嶺、安藤各辯護士列席の下に開廷すると



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第十四回 血に飢ゆる村正

京都へ上つた村正

一番の資正の額と、二番の國重の額を掛け替た不届者が、當人の國重でないとするれば、何處の仕業か、只の悪戯とも思へないから、段々詮議をして見ると、國重の弟子の國義、國友兩人のした事と分つた。尤も慾や徳で兩人もやつた譯ではない、毎年一番の額を上げる師匠が、今年は二番に下つて、若年者の資正の下になつた。夫を残念に思つたので師匠にも斷りなしでやつた仕事と分つた。そこで備前兼光と堀川國廣が仲に入つて、兩人の不心得を戒め、其上資正親子、村正三人の前へ兩手を支いて詫をさせ、國重とても自分の弟子の不心得を知らず、御無禮をして申譯がないと村正に厚く謝した。又村正もよく事情も確めず、一旦の怒りから奉納額を打くだき尊き劍を大地へ落して申譯がなかつたと、國重に詫びる心學の教へにも、世の中は悪い人間ばかりなれば間違ひはない、家庭も圓滿一國も泰平だといふ事がある。一寸聞くと訝かしい様だが、夫に違ひない。『私が悪く

た』『イヤ私の方が悪かつた』といふ風に、お互に自分が悪いものになれば一家でも一國でも無事に治まるが、夫が反對に、皆善人になつて終ふと『俺は悪くない』俺の方が悪くない』とい

酒を飲んでゐなかつたから間遠ひが起らなかつたのでしようが、師の正宗から勘當された程の村正、性來の短氣がまだ直らないものと見えませう。さて仲直りも無事に済んだから、一同安心して引上げる。國重は資重の處へ来て

廣『私は之で立戻りますがどうか村正殿、京都へお出で下さい、及ばずながらお世話を致すから』
村『有難う存じます、是非お尋ねを致します』
と言つて別れた。其の後



ヤお前が悪い』ナニお前の方が悪い』といふ、夫れが喧嘩となり、戦争ともなる村正も國重も、人間が出来てゐるから、己れの過ちは過ちとして詫びたから無事に治まつた。最も最初から村正が短氣をせず、國重

二三月村正は資重方へ滞在をしてゐる内に資正が正『私の死なうとする處をお助け下され、其の上向ふ槌を打つて下されたお陰に上の一の額をける事が出来ました、貴方は此上もない大恩人、殊に技術も勝

れてお出でになるから私は貴方の門弟になりたい、どうか今日から改めて私をお弟子にして頂きたい』
と言つて頼んだ、村正一且は斷つたが、當人が強てといふし、父の資重も共々に頼むから、それではといふので茲に村正と資正とが師弟の約束を致しました。最早や村正も當所に用がないから、四五日資正の處に滞在してゐたが、聽て別れを告げて此處を出立いたし除中別段にお話もなく京都へ上つて参りました。京都は御承知の通り名所舊蹟の多い所で、三條通り新町の小松屋方に草鞋を脱ぎ、それから毎日見物をして歩くと或日五條の通りバツタリ國廣に出逢つて終つた

國『オヤ之は村正殿、何時此の京都へお入になつた』
村『實は兩三日前に罷り越しました』
國『それなら何故手前共へ来て下さらん、今日はお出になるか、明日はお出でになるかと、毎日首を長くして待つて居りました位で、サア』之から直ぐに手前共へお出で下さい』
村『イヤ御親切は添けないが、何を申すにも僅かながら荷物が領けてございますゆえ、明日にも改めて』
國『イヤそれはいけませんお荷物や何かは明日使ひをやれば差支へない、先づ手前共へ』
無理やりに引張つて行き家内の者に一々紹介してイヤモウ下へも置かないやう

に大切にする、夫から又國廣自身が案内して、村正に京都の名所古蹟を一通り見物さして呉れた、京都は寺の多い所だが、其の寺の建築には又見るべきものが多い、村正は職達ひではあるが、藝術家には又何處か共通した点のありますもの、村正は少しも飽きずに毎日喜んで見物をして歩いてゐる。

美味！ 芳醇！ 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

外科、婦人科 井坂醫院

平町 田町 電話九五九番

難波 陸

内科一般

醫學博士

難波 陸

平町大町新川端 電話五〇二

院

吸入用酸素純度 99%

度量衡

モノサシ

マス

ハカリ

器量計

体温器

寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

夏期中自動車料金値下

夏期中沼ノ内、薄磯、豐間、江名方面 行乗客の御便宜を計り左の通り料金値下げ致します。

片濱料金

沼ノ内	二十五錢
薄磯	二十五錢
豐間	三十錢
江名	四十錢

期間七月二十五日より八月三十一日迄

片濱乗合營業者